

へ 議会だより つかい

第108号

2024年2月



共通のテーマ「人口減少対策」を柱に3つの分会で
真剣な意見交換が行われた。（中西別エリア）



特集

4年ぶりに対面開催された「地域めぐり懇談会」	2
千島海溝沿い地震津波を想定、実働型防災訓練！	4
別海町の子どもから大人まで、肥満の割合が高い傾向に	5
町内初の行政代執行、危険状態の空家解消に	6
一般質問（田村、中村、高橋、市川、横田の5議員）	7
定例会・臨時会のまとめ	10
議会のうごき	11

シリーズ 町民に聞きました 地域めぐり懇談会への参加、ありがとうございました…12



北海道別海町議会

4年ぶりに対面開催された

「地域めぐり懇談会」

昨年6月に、計画期間を4年とする「第3期別海町議会活性化計画」を策定し、「わかりやすい議会」「結果を出す議会」「開かれた議会」「行動する議会」を基本理念に掲げ、各種の取り組みを進めています。

その一つが、11月16日と22日の2日間、4会場で開催した「地域めぐり懇談会」です。別海町議会の委員会が調査している政策課題について、政策提言につなげるために、町民の声を拾い、調査活動を補強すべく懇談会を開催しました。

今回は、共通テーマを「人口減少対策」と設定し、三つの分会で、課題や方向性などについて意見交換をしました。

コロナ禍の影響で対面では4年ぶりの開催となり、延べ54人の参加者から貴重なご意見をいただきました。各会場ごとの、主なご意見・要望などを要約してお知らせします。

西春別エリア

①人口減少対策に関する意見

- 国道272号と243号の交差点付近に、日本一の「道の駅」を作り、関係人口を増やすべき。

- 前述のエリアは、自衛隊が行き交う絶好の場所なので、別海町の特産品を販売する拠点として、近くの研修牧場を観光牧場や体験牧場として再生してほしい。
- 空き地化している町有地を無償で提供し、移住者や定住者を増やす努力をすべき。

者を増やす努力をすべき。

②行政に対する意見や要望

- 市街地の案内板が分かりづらいので、おもてなしの気持ちを込めた特色ある素敵な看板が必要。

- ふるさと納税は、町のPRに直結し、たくさん寄付が集まったことは評価すべき。

- 診療所の医師住宅、公営住宅の玄関前、介護サービスを利用する人などの除雪制度がほしい。除雪難民の検証と対策を。

③議会に対する意見や要望

- 町民と地域おこし協力隊との交流の場が必要。議員が各地域でつなぐ努力を。
- 町長を先頭に立てて、国に物申せるよう、議会が強く頑張るべき。

別海市街エリア

①人口減少対策に関する意見

- 異業種間交流を積極的に進めて、売れる商品開発をすべき。

- 小さな部品工場など新しい企業の誘致をすべき。

②行政に対する意見や要望

- 保育士の人材不足対策として、元氣なシニア層を保育補助として社会参加させることで、生きがいを持たせることができるのか。

- 運転免許を返納したいが、生活の移動に困る。スクールバスの活用や、ライドシェア、デマンド交通を含め、検討すべきでは。

中西別エリア

①人口減少対策に関する意見

●働く場所がないので、大企業を誘致したり、集客できる道の駅の設置をして、町有地などの空き地利用や就業場所の増加をすべき。

●たくさん子どもを産んだら、住民税を減税する制度を。

●若いお母さんたちの働きやすい環境づくりをすべき。

●別海町の出生率が高い。それならば、子どもたちが出て行かない努力をしては。

②行政に対する意見や要望

●意見を聞くだけで終わらず、きちんと形にしてくれる行政になってほしい。アイデアをすぐに実行する課を作っては。

●部活、地域行事、買い物、

通院などの移動手段が充実していないので、免許返納する勇気がでない。事故の不安はひとことではないと思う。

③議会に対する意見や要望

●国の保育園入園の条件が緩和されると、ますます保育士不足が生じる。奨学金制度の拡大など突破口はないのか、議員たちで動いてほしい。

●町のために物を言う年寄りにならないと。

尾岱沼エリア

①人口減少対策に関する意見

●酪農後継者には、婚活支援として「菊と緑の会」がある。

漁業者にも婚活できるようなイベントや交流の場をどんどん作ってほしい。

●別海町の特産品がどこで買えるかと、観光客からの問い合わせが多い。尾岱沼の道の駅に自動販売機を設置するなど、スタッフがなくても買えるシステムを導入してはどうか。

②行政に対する意見や要望

●災害時に安心して避難できる動線の確保や、夜間や雪・雨の場合にも対応できる浜治いの防災避難階段街灯の設置など、防災設備を再点検してほしい。

●通院や社会参加などの移動で、高齢者が高齢者を乗せていたり、子どもに連れて行ってもらい、車代をあげている。

ハイヤー券は使いづらい地域があり、平等ではない。

公平な手段として、地域の高齢者に商品券を配布してはどうか。消費拡大と乗せてくれた人へのお礼にもできるのでは。

●高齢者の語り部講座を取り入れ、子どもから高齢者までつながる機会があったらどうか。

③議会に対する意見や要望

●別海町の秋サケは、全盛期の5分の1近くまで減少している。町や議会ではホタテや秋サケに対して、どのような考えているのか。

以上、参加の皆様からいただいたご意見は、人口減少を軽減させるアイデアや、斬新な施策など多岐にわたっていました。

行政や議会への叱咤（しった）激励もあり、掲載したもの以外にも別海町のまちづくりのヒントになるご意見をたくさんいただきました。

これらのご意見は、委員会調査に活用したり、政策提言に反映したいと考えています。参加できなかった皆様にも、この誌面を通して「地域めぐり懇談会」の情報を共有させていただきます。

ありがとうございました。



懇談会の様子（中西別エリア）

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 佐藤 初雄 副委員長 田村 秀男 委員 戸田 憲悦・吉田 和行・市川 聖母

千島海溝沿い地震津波を想定、 実働型防災訓練！

第3回定例会以降に取り組んだ主な調査は次のとおりです。

- 令和5年度各町税課税状況について
- 第45回別海町パイロットマラソンについて
- スポーツ・教育文化施設の管理方法や運営経費について
- 総合的な防災対策について（尾岱沼地区防災訓練視察）
- 第7次別海町総合計画の見直しについて
- ふるさと応援寄付金および基金の運用について
- 移住・定住の促進計画について
- 公共施設の利用計画について
- 小中一貫教育および別海高等学校の魅力創出や支援事業について
- 公共施設跡地の活用計画について

尾岱沼地区防災訓練視察

令和5年10月29日、尾岱沼地区にて行われた防災訓練を視察してきました。

町・警察・自衛隊が連携した防災訓練は、適度な緊張感の中で行われていました。

特に、災害対策本部設置訓練と連携した警察・陸上自衛



陸上自衛隊第27普通科連隊による人員輸送の様子



日本赤十字社別海分区による豚汁の炊き出し

隊共同による人員輸送訓練（2次避難）は、津波災害が予想される沿岸部において必要な訓練だと感じさせられました。

『天災は忘れた頃にやってくる』と言われるように、平時からの防災・減災意識と防災訓練などの備えが必要不可欠です。

誰でもどこでもできる防災訓練の標準化と、自主避難の『自助』、声かけ・助け合いの『共助』精神が根付くよう継続して調査をしていきます。

小中学校にエアコンを設置するための準備が令和6年から始まります！

令和5年12月定例会一般会計補正予算にて、エアコン設置工事実施設計の費用として小学校889万円、中学校635万円の補正予算が提出され、可決しました。

予算決算審査特別委員会の調査の結果、現時点で想定されていることをまとめます。

- ①設置場所は一般教室、特別支援教室、職員室、校長室。
 - ②冷房設備は壁掛け式のエアコン本体と室外機を予定。
 - ③台数は1教室1台を基本。
 - ④資機材、人材の関係から、令和6年夏までの設置は間に合わない（保健室だけは今年度予算で設置）
 - ⑤エアコン設置までの間は、スポットエアコンで対応。
- エアコン設置の予算は、設計が終わる3月29日以降となるので、過不足のないように、引き続き注視しながら、調査を継続していきます。

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 外山 浩司 副委員長 宮越 正人 委員 中村 忠士・小椋 哲也・高橋眞結美

別海町の子どもから大人まで 肥満の割合が高い傾向に

第3回定例会以降に取り組んだ主な調査です。

- 肥満の解消について
- 健康保険証の廃止に伴う町民生活への影響について
- 町立別海病院の運営について

また、東地区の高齢者施設の見学を行いました。

肥満の解消について

小中学生の肥満率は、全学年で全国平均を上回っています。

特に小学6年生は22%で全国平均の2倍。中学2年生も25%で全国平均の2.5倍で、4人に1人が肥満傾向となっています。

成人男性の肥満率は、20代以外の全ての世代で全国平均を上回っています。

特に30代から50代では50%を超え、2人に1人が肥満傾向となっています。

女性は、男性ほどではないものの50代を除き、全国より高い割合となっています。

全体的に令和2年度以降は上昇傾向にあり、コロナ禍による生活実態の変化が大きく影響していると推察されます。

小中学生への対策として、教育委員会と連携した管理栄養士や保健師による体格保健相談を実施しています。

高校生には、3年生を対象とした健診を実施し、どちらにも必要に応じて親子への保健指導などを行っています。

また、大人への対策として特定健診や後期高齢者健診後の保健指導の実施をするなど、年代を通して切れ目のない支援を行なっています。

健康保険証の廃止に伴う 町民生活への影響について

令和6年秋ごろに、現在の健康保険証の廃止が予定されています。

マイナンバーカードを保持してしていない方と、カードに保険証のひもづけをしていない方には、「資格確認書」が交付され、それを医療機関で受診する際に使用することになります。

対象となる方へは、各保険者からお知らせがあります。

町立別海病院の運営について

今年度は、経営強化プランをコンサルタントに依頼して作成しています。

このプランは、令和6年度から9年度までの4年間を見据えた内容で、町立別海病院における病院機能の最適化、収支改善に向けた経営強化を目的としています。

本町をはじめ、多くの公立病院の経営は厳しい状況が続いており、一般会計からの繰入金などを受けながら経営の継続を図っています。

令和6年度から医師の働き方改革が始まり、診療や当直などの労働時間が制限されます。

また、感染症対策の重要性も高まっています。

医療従事者の安定した確保をはじめ、町民が安心して通院できる「かかりつけ病院」として継続できるように調査していきます。



マイナンバーカードによる健康保険証の受付機

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 今西 和雄 副委員長 横田 保江 委員 松原 政勝・貞宗 拓雄・伊勢 徹

町内初の行政代執行 危険状態の空家解消に

長年放置されていた建物のひとつが、町空家対策協議会で特定空家に認定され、所有者に対して撤去勧告がなされました。

期限までに所有者の対応がなく、町は令和5年11月6日行政代執行を実施しました。執行経費は所有者に請求されます。

町内の空き家の現況調査も実施されており、引き続き調査を行なっていく予定です。

なお、特定空家に対する措置は、特定空家認定・助言・指導・勧告・命令・代執行の順で行われます。

酪農研修牧場について

施設の老朽化、研修生のニーズの変化、指導員や作業従事者の高齢化および人員不足な

ど、今後厳しい運営が予想されます。

このため、研修牧場の臨時株主総会において、第2実践牧場（フリーストール式）が閉鎖されると決定しました。

今後は第1実践牧場（つなぎ式）に研修機能を集約し運営する方向性となりました。

研修牧場は、町が直接の運営者ではないため、調査範囲は限定されますが、担い手確保・育成に関わる重要な施設であることから、引き続き調査していきます。

水産系副産物再資源化施設の現地調査

環境対策高度化施設整備事業として、平成16年より稼動を始めました。
漁業の生産活動・加工によ

り排出される漁業残渣物を適切に堆肥化することで、資源循環型の漁業の振興に大きな役割を果たしてきました。

今後も水産事業者にとって必要不可欠な施設であり、計画的な改修・補修の必要性を確認しました。



水産系副産物再資源化施設の視察にて

除雪体制について

今シーズンの除雪体制は、いつでも出動できる体制が整っています。

委員からは、町道と接する私道の入り口は特に注意し、歩行や車の出入りに支障のな

いよう配慮が必要と意見がありました。



市街地の除雪の様子

観光振興について

現在、地域おこし協力隊1名が観光協会の事務局として任に当たっており、町の観光情報の収集・発信に特化した活動をしています。

また、町内の歴史的遺産を観光にと第7次計画に示していますが、集客数の状況・国や道の指定による制約など、クリアする課題も多く、他所管とも協議を重ねていくようです。



詳細はこちらからご覧になれます

議員5人による一般質問

質 問

どうする「ゼロカーボン」



田村秀男議員

質問 本町は「ゼロカーボンシティ」の宣言をした。

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする目標を達成するために、住民や団体および事業者に対する協力依頼やそれに対する支援策は。

答弁 これまでも、循環型農業の推進、バイオマス活用施策、公共施設などのLED化事業、ごみのリサイクルの推進やエコ型住宅への助成事業など、多くの脱炭素に資する事業を展開し、住民や団体および事業者へ協力依頼や支援を実施してきた。

さらなる脱炭素施策が求め

回答の要約

専門知識を有する事業者から情報収集し、脱炭素施策の調査研究を進め、取り組みの方向性を見定めている段階だ。

られる中、現状把握や調査研究をして、効果的な結果をもたらす施策の立案に向けて、知恵を絞っていく。

質問 本町の再生可能エネルギーの構想は。

答弁 町全体の新たなビジョンについては、その必要性および重要性から策定に向けて準備を進める。

現在ある「バイオマス産業都市構想」は、策定してから10年経過しているもので、本年度と来年度で期中評価をし、第2期目の構想を、令和7年度からはスタートできるように準備を進めている。

質 問

自転車用ヘルメット

購入補助を



中村忠士議員

質問 自転車に乗る際、ヘルメット着用が努力義務となった。購入費補助など行政的支援が必要ではないか。

答弁 自転車通学に関する補助制度はあるが、制限があるため利用者はいない。実態に合わせ内容などを協議していく。

また、高齢者の方や中間層の人たちについての補助も論議していく。

演習・訓練について

質問 日米共同訓練が拡大している。縮小を求めるべき。

答弁 回数は増えているが、平和と安定の確保のための抑止力として重要な訓練だと認

回答の要約

子ども、高齢者、中間層についてどうするか、今後協議していく。

識している。

計根別着陸場が米軍の訓練に活用されているが、安全確保を最重要、最優先に行うよう、関係機関に求めていく。

土地利用規制法について

質問 法の実施で町民生活に制限がかからないか。

答弁 別海駐屯地周辺を注視区域とする案の通知があった。その他の施設については指定の対象となっていない。

法の実施に当たっては「日本国憲法の保障する国民の自由と権利を不当に制限することのないよう留意する」とされている。



議員5人による一般質問

質問 訪問介護サービスの課題に早急な対策を



高橋眞結美議員

質問 介護事業所連絡協議会は設立されたのか。

答弁 令和5年度中の設立に向けて準備を進めている。課題共有や今後の方向性を見据え、検討材料を整理し、連携した対応をしていく。

質問 人材確保の取り組みは。

答弁 介護職員初任者研修事業、介護職員確保対策支援事業、介護従事者就業支援補助金、介護福祉士修学生への給付型奨学資金制度の4事業を行っている。

また、民間事業所の代表で構成する策定委員会で見解を伺い、新たな施策の協議を進めている。

回答の要約

行政、事業者の役割を相互に認識し、高齢者が安心して生活できる環境を守るべく、新たな施策を展開する必要がある。

質問 広大な対象地域ゆえの移動に係る経費、他の諸課題に対する財政支援は。

答弁 提供地域の設定や移動に係る経費の財政支援、事業所の処遇改善の取り組みなど、訪問介護従事者の就労状況を踏まえ、精査し適切に進めていくことが必要と考える。

質問 訪問介護事業所が運営している福祉有償運送を、バス・ハイヤー共通利用券に活用できないか。

答弁 現在、運賃など現状を把握中である。福祉有償運送運営協議会を年度内に開催し、利用方法の拡充について調整する。

質問 給食費無償化の確立について



市川聖母議員

質問 安心安全な食材の利用を軸とした献立を考えられる柔軟な予算を、今後変わらずに確保していくか。

答弁 食材の選定については、道産・国産・外国産の順に購入している。

また、インスタントの物も全て成分表を確認し、安全面・栄養面や調理時間、材料の価格などを総合的に考え、購入している。

給食の材料も値上がりしている状況だが、来年度以降もこれまでと同様の給食を提供できるよう、町長部局と予算確保について協議を進めていく。

回答の要約

安全で安心して食べられることを第一に考え、来年度以降もこれまでと同様の給食を提供できる予算を確保する。

質問 物価高騰など、予算的理由により無償化をやめるなど、制度が変わる可能性はないか。

答弁 少なくとも今回10年間の財源のめどはついている。

この取り組みが、永遠に続けられるよう努力していくのが、行政の役割であると認識している。

子育て支援という強い目的からも、できる限り継続できるように努めていく。





詳細はこちらからご覧になれます

議員5人による一般質問

質問 エゾシカ駆除数の増と捕獲従事者の育成および鹿肉の有効活用は



横田保江議員

回答の要約

エゾシカ駆除数増は、1人1日5頭の制限緩和について協議する。
有効活用するエゾシカの買取価格の協議も進めていく。

質問 全国的に、高齢化による猟友会の会員減少、捕獲従事者のなり手不足が課題。

町の現状と捕獲従事者の養成などの支援策は。

答弁 本町には現在85名の鳥獣捕獲実施隊員があり、新規加入する方も一定数いる。

今後の動向を踏まえ、支援などを検討する必要がある。

質問 町民から、エゾシカの駆除の数を増やしてほしいとの声がある。

駆除期間の延長か、囲いわなを増やすか、1人1日5頭の駆除制限を増やすことはできないか。

答弁 駆除数が1人1日5

頭までの決まりについては、毎年4月に有害鳥獣対策協議会があるので協議していきたい。

質問 囲いわなのエゾシカは、町外の業者に無償で引き渡しているが、町内で有効活用することはできないか。

また、買取価格を設定することはできないのか。

答弁 有効活用には一定の設備規模を有し、捕獲の都度対応できる機敏性、衛生的な処理能力、継続性をもって対応できることが条件である。

また、エゾシカの買い取りについては、引き続き協議を進めていきたい。

令和4年度決算審査を終えて

予算決算特別委員会

委員長 外山浩司
副委員長 宮越正人

10月に令和4年度の決算について、全議員により審査を行いました。

議会は、予算が実際のように使われたかを審査し、適正かつ妥当に使われたかを認定します。

審査で重要なのは、不適切なものがあれば、質疑を通して現状を明らかにし、今後の予算編成に反映することです。
令和4年度は、約3億4000万円の黒字で、そのうち1億7000万円を財政調整基金に積み立てました。

ふるさと納税額では、約69億円と大きく伸びました。
そのうち、約4割が町の収入になります。

町税が約26億円なので、その額に相当する額が全国から納税されたことになります。
ふるさと納税は見通しが不

透明な収入なので、頼りすぎない政策が求められます。

また、不用額（使用されなかった予算）が、約7億4000万円と前年度より27%増額しました。

これは、町民のために予算化された施策を十分果たせなかったことになります。

このような状況から、指摘事項として「適正な予算編成と効率的な執行」、創意工夫事項として「適正な財産管理」について総括質疑を行いました。

町側から前回きな答弁がありました。今後の事務改善、制度改正などの行政執行を期待するものです。



定例会・臨時会のまとめ

令和5年4回定例会会議結果報告

ふるさと納税、100億円突破

第4回定例会の概要

12月11日に招集され、会期を12月15日までの5日間に決定。

1日目 12月11日

町長から行政報告。

議会運営委員会の報告。

副町長から提出案件の概要説明。

町長からの行政報告

- 「別海町名誉町民 故佐野力三氏お別れの会」に約300名参加
- 除雪体制は、26業者で車両80台
- 地域貢献中小企業支援事業23件
- にぎわい商店街創造事業6件
- 起業家支援事業4件
- 観光客の入込数は、31万4000人（前年比約11万8000人増）
- 別海高等学校野球部が「21世紀枠候補」に選出

議案などの内容説明

- 各会計補正予算5件を予算決算審査特別委員会に付託
- 新規条例2件を総務文教、福祉医療常任委員会に付託
- 条例の一部改正10件
- 工事請負契約の締結2件
- 公の施設に係る指定管理者の指定4件
- 別海町教育委員会委員の任命
- 専決処分の報告4件
- 2日目 12月12日
- 5名の議員が一般質問。
- 本会議を休会し、広報・広聴常任委員会を開催。
- 3日目 12月13日
- 本会議を休会し、予算決算審査特別委員会、産業建設常任委員会を開催。
- 予算決算に関する主な質疑
- 企業版ふるさと応援寄付金（市川委員）
- 別海高等学校教育支援事業（伊勢委員）

- デジタル基盤改革支援補助金（田村委員）
- シティプロモーション・ブランドディング推進事業（田村委員）
- 物価高騰対応重点支援事業（横田委員）
- 居宅サービス利用者負担軽減事業（横田委員）
- 児童手当支給事業経費（市川委員）
- 中山間地域等直接支払交付金事業（西原委員）
- 新規就農者等支援事業（中村委員）
- 秋サケ漁業持続化支援事業（市川委員）
- 水産系副産物再資源化施設ホタテウロ焼却処分事業（中村委員）
- 小・中学校校舎等整備事業・エアコン設置委託料（伊勢委員）
- 会計年度任用職員経費（田村委員）
- 別海病院経営改善推進事業（田村委員）
- 振興奨励まちづくり振興事業

- ふるさと応援制度推進事業（吉田委員）

4日目 12月14日

本会議を休会し、総務文教常任委員会、福祉医療常任委員会を開催。

5日目 9月15日

常任委員会・特別委員会付託事件結果報告と各議案の討論・採決。全会一致で可決。

戸田議員発議の「北方領土問題の解決促進等を求める意見書」について討論・採決の結果、全会一致で可決。

委員会の閉会中の継続調査事件を決定。

第4回臨時会の概要

11月1日に開催され、アサリ母貝放流に対し580万円の補助を増額する補正予算を審議し可決。

専決処分では、ふるさと応援制度推進事業に、30億円を増額する補正予算を承認、工事請負契約の一部を変更する2件の報告。

議会のうごき

**マニフェスト大賞
「議会改革賞優秀賞」を受賞**

11月10日に東京都六本木ヒルズで、全国3088件の応募の中から選ばれました。

当議会の取り組んでいる「一般質問検討会議」が評価されました。

**根室管内議長会主催研修会
別海町で開催**

10月27日に当議会のサポーターを務める法政大学の土山希美枝教授と共に、「当町の一般質問検討会議」の事例を発表しました。

一般質問検討会議に傍聴者

中標津町議会から7名、山梨県甲府市議会から1名が傍聴に来られるなど全国的に注目を集めています。

今後も、深化発展させて議員全員で質問を磨き上げ、委員会調査と連動しながら、一般質問を原動力に、政策議会への変化を目指していきます。

1 議長、副議長、各議員の動向について

期 日	内 容	備 考
9月20日	大樹町議会行政視察対応 (別海町)	正副議長
10月3日	大空町議会視察対応 (別海町)	議長・議会運営委員長 広報・広聴正副委員長
10月8日	第60回西別川あきあじまつり (別海町)	議長
10月12日	自見内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）北方領土視察に伴う関係団体等との要望・懇談会 (根室市)	議長
10月14日～18日	北部方面隊創隊71周年記念行事 ロシア連邦トロール船操業の即時停止に係る要請行動 (札幌市) (東京都)	議長
10月15日	令和5年度根室管内移動政調会（自民党） (中標津町)	副議長
10月20日～21日	札幌・別海ふるさと会 (札幌市)	正副議長
10月23日～24日	令和5年度全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会 (岩見沢市)	議長
10月25日	令和5年度別海町表彰式 (別海町)	正副議長・議員
11月5日～11日	全国市議会議長会基地協議会第107回理事会 (東京都)	議長
11月20日	令和5年度（第16回）根室農業大賞表彰式・祝賀会 (中標津町)	議長
11月21日	別海町名誉町民 故佐野力三氏お別れの会 (別海町)	正副議長・議員
11月23日～25日	令和5年度演習場問題等に関する要望活動 (東京都)	副議長
11月26日～12月2日	令和5年度根室町村議会議長会視察研修 第67回町村議会議長全国大会 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」・政府要請（香川県・岡山県・東京都）	議長
12月6日	令和5年度別海町文化功労者・別海町スポーツ功労者表彰式 (別海町)	正副議長・議員

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
12月7日	根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 中標津町外2町葬斎組合議会定例会 根室北部消防事務組合議会定例会 (中標津町)	関係議員

※議案などの関係資料は、事務局に保管しています。

シリーズ 町民に 聞きました

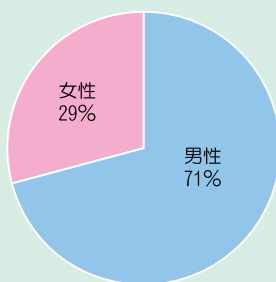
地域めぐり懇談会への参加、ありがとうございました

今回、4年ぶりに開催することができました。「地域めぐり懇談会」は、西春別・別海市街・中西別・尾岱沼で行い、数々の貴重なご意見をいただきました。

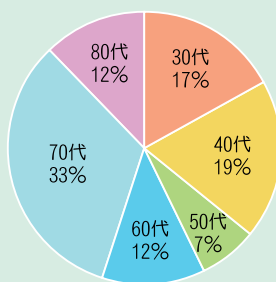
参加者アンケート調査の概要

	実施場所	参加者数	アンケート回答数
11月16日	西公民館	4名	4名 (100%)
	別海町交流館「ぶらと」	4名	4名 (100%)
11月22日	中西別ふれあいセンター	39名	28名 (72%)
	尾岱沼地域センターきらくる	7名	6名 (86%)
	合計	54名	42名 (78%)

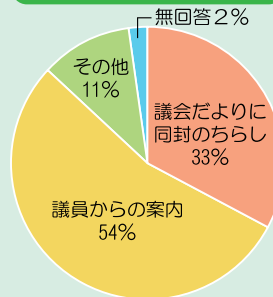
性別



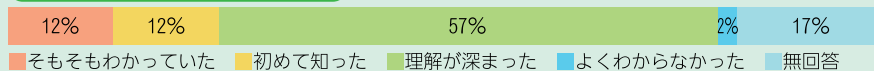
年代



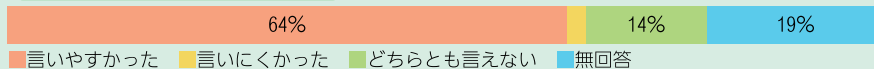
参加のきっかけ(複数回答あり)



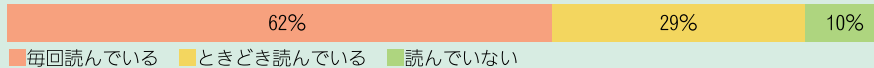
委員会活動について



意見交換について



議会だよりについて



議会だよりの改善について



町民から寄せられた意見

- 議会をネット配信して、誰でも自宅で視聴できるようにしてもらえたら、良いと思います。
- 総務文教分会は、若者が多かったが、もっと次世代を担う人が参加したくなるような工夫が必要ではないか。
- 福祉医療分会は、年配の方が多かったが、活発な意見交換ができた。
- 写真入り議員名簿の添付や進行などが良かったです。
- 町内会に未加入の世帯には、町の広報や議会だよりは届いていない。議員活動がわからないと思いますので、役場総合案内を含めコンビニなどに置いていただきたい。
- 今回の別海高校野球部の活躍は、どんな形であれ、〇〇賞など活躍に報いるべきと考えますが、議員の皆様いかがお考えでしょうか？
- 議員さんたちの、生の声を聞けたことや意見交換ができたことが良かったです。
- いろいろな問題改善に取り組むため、すぐやる課をよろしくお願いします。

令和6年3月定例会の予定

3月7日(木) 10時～

1日目 本会議(議案説明・質疑など)・予算決算審査特別委員会

3月8日(金) 10時～

2日目 本会議(先議議案採決、議案説明・質疑など)

3月9日(土)～10日(日)

休会

3月11日(月)・12日(火) 10時～

5・6日目 本会議(一般質問)、常任委員会

3月13日(水)・14日(木) 10時～

7・8日目 予算決算審査特別委員会、常任委員会

3月15日(金) 10時～

9日目 本会議(議案の討論・採決など)

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

一般質問の傍聴に
きてみませんか？

議会の会議は、誰でも傍聴できますが、体調不良の方は傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

そのサイト「危ないかも」と一呼吸